



# そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園  
園だよりNo. 5  
2024年8月29日発行

8月の聖句  
「平和を実現する人々は  
幸いである」

新約聖書マタイによる福音書5章9節～

世界の人々が熱狂した平和の祭典パリオリンピックが終わりました。でも人々は平和を求めながら、戦火は止むことはありませんでした。笑顔と悲しみが同居しています。

また8月15日は79年目の終戦の日を迎えました。8月は改めて平和の尊さを考える時です。イエス様が今から2000年前に「平和を実現する人は幸いである」と、わたしたちに告げました。戦いは憎しみを生み出します。憎しみが消えない限り平和の実現は難しいのです。

シスターマザーテレサは平和の実現のためには「互いに愛し合いなさい」と聖書を引用しました。お互いの違いを認め、相手を尊敬し、そして認め合うことによって、世界が一つになります。平和を実現するのは私たち一人ひとりです。

憎しみのない世界にするには世界の人々と友人なることです。

チャプレン司祭越山健蔵

## 南献金ありがとうございました。



毎週 こどもたちの小さなおさいふから  
大切なお金が南献金されます。  
今年の1月から7月まで、なんと  
35,001円にもなりました。  
この尊いお金は 困難の中にいる  
子どもたちのもとへ送られました。



半分はネパールへ、半分は福島のファミリーホームのあさんです。元園医の樫戸 健次郎先生

茨城県出身。中学生のときにシュバイツァーの本を読み、海外医療協力に関心を持つ。千葉大学医学部卒業後、家庭医を目指す。北海道の美流渡診療所などに勤務し、北海道の地域医療の発展に貢献。1994年、どさんこ海外保健協力を設立し、初代表となる。(その後代表を辞し、現在、顧問) また、社団法人日本キリスト教海外医療協会 (JOCS)の一員として理事・常任理事などを歴任し、ネパールに派遣される。2012年4月から、どさんこ海外保健協会ワーカーとして、ネパールで保健プロジェクトを担当。2022年3月から代表理事就任。

ネパールは、もと園医の樫戸先生が子どもたちのために奮闘しています。ファミリーホームのあさんは聖十字幼稚園の母体となる聖公会の司祭様の「家族」が代表となり子どもたちを育てています。かなさん 本当にありがとうございました！

8月28日(水) 2学期月初のこひつじです！  
いいお天気。

たくましくなった子どもたち



### ワクワク安心の 保育環境づくりへ

室内も園庭も、時間の流れ、人間関係も

木村 歩美

フリーオーレ

森のラビリンス

シャボン池

3 水辺

息を合わせて  
どけたあと、ちやと戻してくれていました。

外部環境との出会い方、遊び方の見直し

☆わたしたちの園庭づくりの師匠、木村 歩美先生が、新しい本を出しました！  
なんと今回は、うちの子どもたちが表紙を飾っています！本の中にもあちこちに、わたしたちの手で汗水流して作ってきた園の環境が5ページにもわたって出てきます。  
☆B5判 160Pフルカラー・定価2,530円。  
☆聖十字の思い出に、子育ての環境づくりのヒントにいかがですか？小中学校や、児童デイの先生たちも、聖十字に見学に来ると「参考にしたい！」と感動してくれる、子どもがのびのびできる、そんな環境づくりの肝がびっしりの本になっています。  
☆ご希望の方は、配布の注文カードにご記入の上、幼稚園までお申し込みください。